

令和8年度の事業計画書

令和8年4月1日 から 令和9年3月31日 まで

認定NPO法人このね

1 事業の方針

R7年度 15名

今年度は、少し足元の基盤づくりを進めたいと考えています。生徒数の拡大(目標20名)、マンスリーサポーターの拡大(35→100名)、奨学金第1号の採用、大分市方面への送迎サービスの試験運用、ロケット出前授業10校の実績づくりを重点とする。

特に休眠預金活用事業を活用して、学校運営の基盤(人材育成・ICT環境・通学支援・寄付基盤)を強化するための先行投資として、学校運営事業と一体で推進する。

また野外体験事業、ロケット教室も、これまでの実績をもとに改善を図り満足度の向上に向けて活動をしていく。昨年度、クラウドファンディングを得て、学校開催ができるロケット教室は5校以上の開催を目指したいと考えている。

また選択理論心理学を土台にした、教育プログラム研修・普及事業では、教育者、保護者向けの研修事業をテストとして始める。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	具体的な事業内容	(A) 実施予定日時／(B) 場所 (C) 従事者	(D) 受益対象者 (E) 予定人数
① 学校運営事業	・オルタナティブスクール「このね自由な学校」の運営 ・休眠預金活用事業により、人材育成(選択理論研修)・ICT環境・通学支援・寄付基盤を強化。	(A) 通年(平日) (B) このね自由な学校(豊後大野市) (C) スタッフ約10名	(D) 不登校・オルタナティブ教育を求める児童生徒及び保護者 (E) 在籍20名
② 野外体験事業	・デイ(通学)コース、1泊2日・2泊3日の宿泊型プログラムを実施。 ・年間延べ約160名を目標。	(A) 夏季 (B) ふるさと体験村・大分県内等 (C) スタッフ・ボランティア	(D) 大分県内の小中学生・一般 (E) 延べ約160名
③ ロケット教室事業	・子どもゆめ基金を活用しロケット教室を開催。 ・公立校への出前授業10校で実績づくり、スポンサー営業の材料とする。	(A) 通年で複数回 (B) このね・大分県内の公立校等 (C) スタッフ・ボランティア	(D) 大分県内の小中学生 (E) 延べ680名
④ 教育プログラムの研修・普及事業	・指導者・保護者向けの研修、教育プログラムの普及。 ・親の学び場(子育て学習会)をR8後半に試験開催(2回)。	(A) 通年 (B) このね・オンライン等 (C) スタッフ・外部講師	(D) 指導者・保護者・関係者 (E) 延べ多数

(2) その他の事業

・実施を予定していない。

令和9年度の事業計画書

令和9年4月1日 から 令和10年3月31日 まで
認定NPO法人このね

1 事業の方針

今年度は、前年度に築いた基盤をさらに定着させる年と位置づける。生徒数の拡大(目標24名)、マンスリーサポーターの拡大(100→150名)、奨学金の複数号採用、大分市方面への送迎サービスの本格運用、ロケット出前授業12校の実績づくりを重点とする。

引き続き休眠預金活用事業を活用し、学校運営の基盤(人材育成・ICT環境・通学支援・寄付基盤)強化を学校運営事業と一体で推進するとともに、R8年度に整えた仕組みの定着・自走化を図る。

野外体験事業、ロケット教室についても、R8年度までの実績と参加者アンケート等をもとに改善を重ね、満足度のさらなる向上をめざす。ロケット教室は、学校開催枠を引き続きクラウドファンディング等で確保し、5校以上の開催を維持・拡大したい。

また、選択理論心理学を土台にした教育プログラム研修・普及事業については、R8年度のテスト実施をふまえ、教育者・保護者向け研修の定例化・本格実施を検討する。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	具体的な事業内容	(A)実施予定日時／(B)場所	(C)従事者／(D)受益対象者	(E)予定人数
① 学校運営事業	・オルタナティブスクール「このね自由な学校」の運営。 ・休眠預金活用事業(2年目)により、人材育成(選択理論研修)・ICT環境・通学支援・寄付基盤の強化を継続。 ・大分市方面への送迎サービスを本格運用へ移行。	(A) 通年(平日) (B) このね自由な学校(豊後大野市)	(C) スタッフ約10名 (D) 不登校・オルタナティブ教育を求める児童生徒及び保護者	(E) 在籍24名
② 野外体験事業	・デイ(通学)コース、1泊2日・2泊3日の宿泊型プログラムを実施。 ・R8実績をもとにプログラム内容を改善し、満足度向上を図る。 ・年間延べ約170名を目標。	(A) 夏季 (B) ふるさと体験村・大分県内等	(C) スタッフ・ボランティア (D) 大分県内の小中学生・一般	(E) 延べ約170名
③ ロケット教室事業	・子どもゆめ基金を活用しロケット教室を開催。 ・公立校への出前授業12校で実績を積み上げ、スポンサー営業の材料とする。 ・クラウドファンディング等を活用し、学校開催枠を5校以上確保する。	(A) 通年で複数回 (B) このね・大分県内の公立校等	(C) スタッフ・ボランティア (D) 大分県内の小中学生	(E) 延べ700名
④ 教育プログラムの研修・普及事業	・指導者・保護者向けの研修、教育プログラムの普及。 ・親の学び場(子育て学習会)をR8試験開催の結果をふまえ、定例開催化を検討。	(A) 通年 (B) このね・オンライン等	(C) スタッフ・外部講師 (D) 指導者・保護者・関係者	(E) 延べ多数

(2) その他の事業

・実施を予定していない。

令和8年度__活動予算書

2026年 4月 1日から2027年 3月31日まで

認定NPO法人このね
(単位:円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員費(6000円/11人)	66,000	66,000	
2. 受取寄附金			
企業協賛(送迎用)	750,000		
受取寄附金	948,800	1,698,800	
3. 受取助成金等			
民間助成金(休眠預金)	4,585,000		
民間助成金(こどもゆめ基金)	2,661,000		
国庫助成金(人材開発)	1,200,000		
国庫助成金(両立支援/育児休業)	300,000		
国庫助成金(業務改善助成金)	1,064,000	9,810,000	
4. 事業収益			
①学校運営事業			
学 費	6,649,800		
給食費	689,600		
送迎費	202,500		
入学費	290,000		
体験費	132,000	7,963,900	
②野外体験事業			
通学コース	600,000		
1泊2日コース	990,000		
2泊3日コース	550,000	2,140,000	
③ロケット教室事業			
子どもゆめ基金	432,000		
学校開催	125,000	557,000	
④教育プログラム研修・普及事業	100,000		
		10,760,900	
5. その他収益			
受取利息	0	0	
経常収益計			22,335,700
II 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
役員報酬	2,700,000		
給料手当	2,688,000		
専任スタッフ	1,062,000		
アルバイト	734,677		
法定福利費			
人件費計		7,184,677	

(2)その他経費			
業務委託費	自由な学校	2,885,000	
	休眠預金	60,000	
	野外体験	114,000	
謝金	自由な学校	176,000	
	野外体験	700,000	
	ロケット教室	360,000	
印刷製本費	自由な学校	30,000	
	野外体験	99,000	
	ロケット教室	163,000	
会議費		10,000	
交際費		60,000	
旅費交通費	自由な学校	210,000	
	休眠預金	279,785	
	野外体験	455,000	
	ロケット教室	157,500	
車両費	自由な学校	200,000	
	野外体験	182,000	
通信運搬費	自由な学校	70,000	
	休眠預金	354,346	
	ロケット教室	27,000	
消耗品費	自由な学校	1,122,500	
	野外体験	584,700	
	ロケット教室	874,400	
水道光熱費		66,000	
賃借料	自由な学校	100,000	
	野外体験	98,000	
	ロケット教室	57,600	
保険料	自由な学校	26,000	
	野外体験	170,000	
租税公課		20,000	
研修費	自由な学校	880,000	
	休眠預金	399,966	
支払手数料	休眠預金	117,794	
	野外体験	93,100	
	ロケット教室	48,280	
新聞図書費	自由な学校	72,000	
	休眠	346,328	
広告宣伝費	休眠	650,000	
	野外体験	80,000	
	ロケット教室	199,000	
雑費		200,000	
教育娯楽費		100,000	
什器備品		2,340,000	
その他経費計			15,238,299
事業費計			22,422,976
2. 管理費			
(1)人件費			
役員報酬		300,000	
法定福利費		42,000	
人件費計			342,000

(2)その他費用			
交際費	40,000		
旅費交通費	10,000		
通信運搬費	80,000		
消耗品費	50,000		
水道光熱費			
諸会費	180,000		
支払手数料	470,000		
支払利息	150,000		
広告宣伝費	3,000		
租税公課	1,000		
研修費	0		
その他費用計		984,000	
管理費計		1,326,000	
経常費用計			23,748,976
	当期経常増減額		(1,413,276)
Ⅲ 経常外収益			
経常外収益計			0
Ⅳ 経常外費用			
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			(1,413,276)
法人税、住民税及び事業税			0
当期正味財産増減額			(1,413,276)
前期繰越正味財産額			8,343,164
次期繰越正味財産額			6,929,888

令和9年度 活動予算書(案) ✓

2027年 4月 1日から2028年 3月31日まで

認定NPO法人このね

(単位:円)

科 目	内 訳	金 額
I 経常収益		
1. 受取会費		
受取会費	正会員費(想定)	69,300
	小計	69,300
2. 受取寄附金		
受取寄附金	企業協賛(送迎用)	787,500
	受取寄附金	996,200
	小計	1,783,700
3. 受取助成金等		
受取助成金等	民間助成金(休眠預金)	4,814,200
	民間助成金(こどもゆめ基金)	2,794,000
	国庫助成金(人材開発)	1,260,000
	国庫助成金(両立支援/育児休業)	315,000
	国庫助成金(業務改善助成金)	1,117,200
	小計	10,300,400
4. 事業収益		
①学校運営事業	学費	6,982,300
	給食費	724,100
	送迎費	212,600
	入学費	304,500
	体験費	138,600
	①小計	8,362,100
②野外体験事業	通学コース	630,000
	1泊2日コース	1,039,500
	2泊3日コース	577,500
	②小計	2,247,000
③ロケット教室事業	子どもゆめ基金	453,600
	学校開催	131,200
	③小計	584,800
④教育プログラム研修・普及事業		105,000
	事業収益計	11,298,900
5. その他収益		
その他収益	受取利息	0
	小計	0
	経常収益計	23,452,300
II 経常費用		

1. 事業費		
(1) 人件費		
人件費	役員報酬	2,835,000
	給料手当(専任スタッフ)	2,822,400
	アルバイト	1,115,100
	法定福利費	771,400
人件費計		7,543,900
(2) その他経費		
業務委託費	自由な学校	3,029,200
	休眠預金	63,000
	野外体験	119,700
謝金	自由な学校	184,800
	野外体験	735,000
	ロケット教室	378,000
印刷製本費	自由な学校	31,500
	野外体験	104,000
	ロケット教室	171,200
会議費		10,500
交際費		63,000
旅費交通費	自由な学校	220,500
	休眠預金	293,800
	野外体験	477,800
	ロケット教室	165,400
車両費	自由な学校	210,000
	野外体験	191,100
通信運搬費	自由な学校	73,500
	休眠預金	372,100
	ロケット教室	28,400
消耗品費	自由な学校	1,178,600
	野外体験	613,900
	ロケット教室	918,100
水道光熱費		69,300
賃借料	自由な学校	105,000
	野外体験	102,900
	ロケット教室	60,500
保険料	自由な学校	27,300
	野外体験	178,500
租税公課		21,000
研修費	自由な学校	924,000
	休眠預金	420,000
支払手数料	休眠預金	123,700
	野外体験	97,800
	ロケット教室	50,700

新聞図書費	自由な学校	75,600
	休眠預金	363,600
広告宣伝費	休眠預金	682,500
	野外体験	84,000
	ロケット教室	209,000
雑費		210,000
教育娯楽費		105,000
什器備品		2,457,000
その他経費計		16,000,500
事業費計		23,544,400
2. 管理費		
(1)人件費		
人件費	役員報酬	315,000
	法定福利費	44,100
人件費計		359,100
(2)その他費用		
交際費		42,000
旅費交通費		10,500
通信運搬費		84,000
消耗品費		52,500
水道光熱費		0
諸会費		189,000
支払手数料		493,500
支払利息		157,500
広告宣伝費		3,200
租税公課		1,000
研修費		0
その他費用計		1,033,200
管理費計		1,392,300
経常費用計		24,936,700
当期経常増減額		-1,484,400
Ⅲ 経常外収益		
経常外収益計		0
Ⅳ 経常外費用		
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		-1,484,400
法人税、住民税及び事業税		0
当期正味財産増減額		-1,484,400
前期繰越正味財産額		6,929,888
次期繰越正味財産額		5,445,488